

区民懇談会

区政会議の中で、「若い世代の区民の方々の意見を聴く機会を設けてはどうか」というご意見をいただいたことを契機として、平成 30 年 2 月 23 日（金）、25 日（日）に区民懇談会を開催しました。

【出席者】

区民モニター登録者のうち、40 代以下の参加を希望された方 計 16 名
福島区 総合企画担当係長、係員

【主な意見】

●まちなぎについて

- ・マンションが増え、町の様子が変わってきた（肯定的意見及び否定的意見）。
- ・高齢になっても住みやすいまちになってるのか気になる。歩道が細かったり、段差があったり、看板などで歩道が塞がっている。

●地域コミュニティについて

- ・忙しくて地域のことで時間を割いてもらえない。特に子育て世代は、共働きが多く、家庭を回すので精一杯である。
- ・実際に災害が起これば意識が芽生えるだろうが、今は必要がないという気持ちもわかる。
- ・地域コミュニティの形成が災害時や虐待予防の特効薬に本当になりえるのか。業者に委託する方法もあるのではないか。
- ・町会に入っている人たちは、どこで集まって話しているのか。コミュニティセンター自体を知らない。

●ボランティアについて

- ・何か参加できるボランティアがないか探しているが、福島区では横のつながりが見えず、できていない。広報紙で探すも、なかなか見つからない。

●防災について

- ・災害対策をはじめ、情報が区民に行き届いていないと思う。「ぼうさいマップ」は全戸配布するなど、区民に無理矢理でも届けなければならないのではないかと。行政はいろいろな取り組みをしていると言うが、意欲的な限られた人にしか情報が届いていないのではないかと。ホームページも何か大きな災害が起きない限り見に行かない。情報を届けることの必要性をもっと強く意識してほしい。

●区役所の対応について

- ・ことば遣いは丁寧になっているが、融通がきかなかったり、担当者が変わると違う答えになったりする。言葉遣いや丁寧な対応を評価の基準とする満足度ランキングよりも内容・質を高めて、見解やレベルを統一してほしい。

●吉本興業の活用について

- ・イベントのプロである吉本興業との協定を活用して、会議やイベント等の見せ方・手法を相談してみてはどうか。問題点などをコントでわかりやすくやってもらい区役所で面白いこともやっていると印象付ければ、区役所に向いてくれるのではないかと。